

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ともともびじょん				公表日	2025年 2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		年齢や人数に合わせて教材や机の大きさなど配慮している	子どもたちが安全に、より安全に運動できるように配慮する	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		配置基準上適正です		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		階段に手すりを設置、落ちないように二重ロックをかける。使っていない道具などを隠して、できるだけ集中できるようにしている。	個別で課題に取り組む時間に横で運動しているため、子どもによっては気が散る	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		常に清潔を心掛け、風通しや温度調節に注意している。また、配色にも工夫している		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		必要な時には事務所も活用し、集団から離れてクールダウンできるようにしている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		児童全員に対してPDCAを作成している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価表は全員に周知し、保護者の意見を参考にしている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		会議、研修等できる限り行い、改善に心がけている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	外部評価を行っていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		事業所内や案内による外部研修を受講し、キャリアアップにつなげている		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公表しています		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		子どもの特性や保護者の思いを考慮し、アセスメントを行い計画を立てている。トレーニングに関してはPDCAを作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		支援員から普段の状況や意見を聞き、計画をたてている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		いつでも確認できるように、ファイリングしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		保護者からの検査結果をいただき、支援を検討している。子どもの日々の状況をよく観察し記録している		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		全項目、設定してより具体的かつスキルアップできるように別紙計画も作成している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		会議時間を設けて行っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		指導員の日々の工夫でアレンジしたり、内容を話し合い、取り組んでいる		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別と集団の活動を組み合わせ、子どもが自ら切り替えられるように支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		児童発達支援、放課後等デイサービス療育提供時間前にスケジュールの確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		職員間で振り返りをもとに、今後の活動の内容を話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		活動内容や子どもの状態対応方法を記録し、支援を振り返りしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		児童発達支援、放課後等デイサービス共に、6か月に一度モニタリングを行い、見直しをしています。その他必要に応じて適宜実施している	今後も家族面談を行いながらご家族のニーズや優先順位を確認しながら支援を行っていきます
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		自立支援、創作活動や放課後の時間を楽しく過ごせるよう、プログラムに組み合わせ支援している	今後も活動が単発にならないように基本活動の中から組み合わせ活動できるようにしていく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	8		自己決定できる機会を、日々の療育時間内での自由時間、トレーニング、運動、おやつ等の場面で取り入れている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者が事前に打ち合わせを行い、出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		協力医療機関と連携している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		訪問支援に訪れている園、学校との必要な情報共有を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		必要に応じて、関係機関との連携を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		開設から現在までに対象者がいません	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		センターに依頼し、必要に応じてST・PT・OTの指導を受けている 研修にも参加している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		地域で行われているイベントに参加する機会を設けている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			自治体のネットワーク会議には必ず参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		毎利用時の申し送り連絡帳を活用して、園や学校、家庭での様子を送迎時に直接聞き取り情報交換をしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		定期的に保護者会を開催し、研修・学習会・ペアレント・トレーニングへの参加を促す等、機会の提供を行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		利用契約時に説明し、不明な点が残らないように気をつけている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		子どもたち、保護者と毎回会話を交わし、意思をくみ上げるようにしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		事前に連絡をし時間を設けていただき、よく説明したうえで同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		いつでも確認できるように、相談いただける旨を発信し面談や電話等で受付対応している	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会を開催し、児童発達支援、放課後等デイサービスの保護者同士で交流し情報交換ができる場を設けています	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		利用契約時に、苦情受付の体制について説明し申し出しやすくしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		お便りで紙面での配布、PDFで保護者に配信、SNSで活動の様子などを情報として発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		利用契約時に個人情報の取扱いに関する書面を用いて説明している。	個人ファイルなどの取扱いは、常に施設し外部に漏れないように職員にも徹底した管理を行う
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		分かりやすい説明を心掛け、視覚的ツールを活用した支援も取り入れている。保護者とも面談などで配慮の内容を情報共有し配慮している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3	地域住民を招待する行事の設定が難しいためほぼできていない	今後の課題として、地域に発信できる方法を検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルの整備に努め、職員全員に周知している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BOP策定し、定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		利用契約時に確認し、変更など適時報告をいただき、職員前進が一覧で確認できるようにしている	新学年時に変更がないか再確認のため、書面に再度記入をお願いしている
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		医師の指示書は出していない。食物アレルギーについては、調査票を用いて把握し、おやつ、行事等でも十分配慮している。保護者と相談しひとり一人に対応している	新学年時に変更がないか再確認のため、書面に再度記入をお願いしている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成し、職員全員に周知している。飛び出し防止柵や滑り止めを設置し、安全管理に努めている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	定期的に訓練を行っているが、その様子を保護者に情報発信、周知できていない	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		直ぐにヒヤリハットの記録、報告し、職員会議で必ず議題に取り上げ共有している。又再発防止に向けた対策について話し合い、防止に繋げている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		定期的に事業所内で研修を行い、外部での研修会にも積極的に参加している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		どのような行動が身体拘束あたるのか、研修を定期的に行い、個別支援計画にも入れ保護者に説明し同意をいただいている		